

## 多読クラブ通信(2022年3月号)

4月-6月が多読クラブ第1期となります。継続してご利用いただけるかたは3月末頃までに次期3か月分の会費の納入をお願いいたします。3月一杯で退会、休会される方は3/25頃までにご連絡のうえ、月末までにご返却をお願いいたします。

新規入荷本のご案内(置き置きリクエストは stepworld@e-pal.co.jp まで。)

### March

Su	Mo	Tu	We	Th	Fr	Sa
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

児童書 Dragon Masters シリーズ 19巻(最初の10冊は音源あり)

タイトル	YL	総語数
Rise of the Earth Dragon	3.0	6000
Saving the Sun Dragon	3.0	6000
Secret of the Water Dragon	3.0	5900
Power of the Fire Dragon	3.0	5900
Song of the Poison Dragon	3.0	6000
Flight of the Moon Dragon	3.0	6000
Search for the Lightning Dragon	3.0	6000
Roar of the Thunder Dragon	3.0	6000
Chill of the Ice Dragon	3.0	6000
Waking the Rainbow Dragon	3.0	6000
Shine of the Silver Dragon	3.0	6100
Treasure of the Gold Dragon	3.0	6100
Eye of the Earthquake Dragon	3.0	6100
Land of the Spring Dragon	3.0	6000
Future of the Time Dragon	3.0	6100
Call of the Sound Dragon	3.0	6200
Fortress of the Stone Dragon	3.0	6100
Heat of the Lava Dragon	3.0	6200
Wave of the Sea Dragon	3.0	6100



昨年11月、多読を約7年間続けた小学4年生が英検2級に合格するという快挙がありました。子供の多読でここまで成果が出るのはそう多くはありません。子供の多読がうまくいく秘訣を知るためインタビュー取材をさせていただきました。この多読ニュース3月号と4月号にてQs and As式でご紹介させていただきます。郵送会員の方です。

### Q お子様向けに多読を始められたのはいつ頃でしょうか？

子どもが3歳半くらいの時、「多読」という方法を知って、まずはORTのトランクパックの一部(Stage1-4)を購入。読み聞かせが始まりました。もともと日本語の絵本も周りにたくさんあって、よく膝の上で読み聞かせをしていたので、そこに英語の絵本が混じったという感じです。子供二人とも本が好きです。それでも英語の本が足りなくなって、これは買って続けられるレベルではないと気づき、多読クラブさんを見つけてご連絡したという次第です。(裏面へ↓)

Q 私(教室長)の子供の経験では、日本語がしっかりしてくるとともに英語が面倒に感じるのか、英語で読み聞かせをしていると日本語をせがまれたり、動画の英語音声を勝手に日本語に切り替えたりしたことがよくあったのですが、そのへんはいかがでしたか？

それは無かったですね。動画に関しては、うちにはテレビは無いものとしていて、ふだんからほとんど見ないようにしています。それでもLEGOムービーのようなDVD映像は「英語音声しかない」ものとして見せたりしていました。多読と同じように、やさしくて内容がわかりやすいものから徐々にレベルを上げるやりかたです。好き嫌いはあるので、本にしても動画にしても嫌がるものは無理に見せない、読ませないし、好きなものは何回でも同じものを見せる、読ませるようにしています。

Q 英語多読をやっていて日本語の意味を教えたりしたことはありましたか？

いいえ、英語の意味を聞いてくることはほとんどありませんね。なんとなくわかっているようです。もちろん、わかるレベルのものを与えているからだと思います。

Q 読み聞かせから自力で本を読むようになったのはいつ頃、どんなふうに変化したのでしょうか？

記録を見てみると2015年5月に多読クラブさんの利用が始まって、2017年7月(5歳くらい)頃にYL:0.4から自力読みが始まっています。ですからYL:0.3くらいまでは読み聞かせとCDかけ流しだったのですね。記録では、その翌月くらいから0.6や0.7のものも読んでいたので、そこからはレベル上げがスムーズに行ったようです。でも、自力読みが始まった頃に、なぜかマジックツリーハウス(YL:3.0)のオーディオブックも聞き始めた記憶があります。おそらく子供は音声のほうを理解しやすいのではないのでしょうか。うちは田舎のほうなので、習い事の送り迎えは全てクルマなのです。ですから多読クラブでお借りした本は音声をすべてクルマの中で聞けるようにしています。先にCDと本とでストーリーを同時に読ませて、そのあとクルマの中でくりかえし聞かせていました。本とCDとの併用でだいたいの流れが頭に入っているの、クルマの中で本を見ないで聞くだけでも、あまり抵抗なく理解できたのだと思います。これを繰り返しているうちに聞く力が育ってきたからなのか、本を一度も開いていないのに、いきなりむつかしいものを聞いていきなり理解するようになってきました。上の子も下の子も音声だけだったらけっこう上のレベルのオーディオブックが聞けるようです。今、下の子はYL:0.5~0.6あたりの本を自力で読んでいますが、先日マジックツリーハウスの続きが聞きたい(YL:3.0~)と言っていました。上の子も現在YL:2.0~3.0の本を自力で読んでいますが、オーディオブックであれば、かなり分厚い、おそらくYL:6.0くらいのもを何時間もかけて聞いています。文字を読む時と音声で聞く時との難易度ギャップがかなり大きく、面白い現象だなと感じています。

Q おうちで聞く時はCDプレーヤーの前で聞くのですか？

ながら聞きが多いです。4歳~5歳の頃はよく家でブロックや積み木遊びをしていたので、よく遊びながら音声を聞いていました。本当に聞いているのか疑問に思って、試しに音声を止めてみると「なんで止めるの?」と言われるので、手を動かしながらちゃんと聞いているようです。上の子は最近カードゲームをしながらオーディオブックを聞いていることが多いです。

続きは4月号にて。